令和７年度　授業計画

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	財務会計Ⅱ（４単位）
使用教科書	財務会計Ⅱ（ＴＡＣ出版）		
授 業 形 態	通常授業　・　分割授業　・（Ｔ　Ｔ）		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
※ＴＴ（チームティーティング）とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

１　科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。
（３）会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２　科目の内容と授業の進め方

・財務諸表の作成に関する会計処理方法や考え方など企業会計の一連の手続きについて、２年次の復習を行い演習問題で理解を深める学習を行います。
・会計情報をより活用するために、その情報分析や財務指標の計算が出来るように十分な演習を行います。
・日商簿記１級や全経簿記上級の基礎部分の内容に関連した項目を学習していきます。
・１２月に全商財務会計検定・全商財務諸表分析検定を受験目標とします。

３　学習の方法

・板書事項はノートに写し、説明を聞いて自分なりに言葉を補い整理し、理解しましょう。
・専門用語の意味を理解し、使い分けられるようにしましょう。
・理解できないことは、そのままにしないで必ず質問しましょう。
・演習を行うときは、問題をよく読みポイントを把握して、要領よく解けるようにしましょう。
・演習を行いながら、自分の苦手分野を把握し、その分野の演習がスムーズにできるまで、何度も繰り返し解きましょう。
・電卓の機能を駆使し、少しでも早く計算ができるように工夫しましょう。

４　課題・補習について

・随時、問題集の点検を行います。
・課題の点検を行います。
・１２月に全商財務会計検定・財務諸表分析検定を受験するため、必要に応じ補習を実施します。

５　この授業で取得可能な資格（検定試験）

・全商財務会計検定・財務諸表分析検定
・全商ビジネス計算実務検定　１級

６　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析しようとする。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	財務会計Ⅱ（４単位）

7　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法（課題等）
4 5 6	第１章　財務諸表の作成と表示の考え方 第２章　資産負債アプローチと収益費用アプローチ 第３章　会計基準の国際的統合 第４章　金融商品 第５章　外貨建取引 第６章　デリバティブ取引	・企業会計の基礎にある前提と概念について学習する。 ・資産負債アプローチと収益費用アプローチの意義及び純利益と包括利益の概念について学習する。 ・財務会計に関する基準の国際的な動向及び日本の会計基準の特徴について学習する。 ・金融商品の契約や保有などに関連した会計処理について学習する。 ・外貨建取引などに関連して生じる期中および決算時の会計処理について扱う。 ・デリバティブ取引などに関連して生じる期中および決算時の会計処理について扱う。 **全商ビジネス計算実務検定　１級**	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト **前期中間考査**
7 8 9	第７章　様々な商品売買取引 第８章　工事契約 第９章　有形固定資産 第10章　リース取引 第11章　研究開発費とソフトウェア 第12章　固定資産の減損	・委託販売、受託販売、未着品売買、試用販売の会計処理について学習する。 ・工事契約にかかる一定の期間にわたり充足される履行義務の会計処理について学習する。 ・有形固定資産の総合償却および圧縮記帳について学習する。 ・リース取引に伴う借手側と貸手側の会計処理について学習する。 ・研究開発費の会計処理について学習する。 ・減損の会計処理について学習する。	行動観察 問題集点検 プリント点検 **前期期末考査**
10 11	第13章　社債 第14章　退職給付会計 第15章　資産除去債務 第16章　純資産 第17章　新株予約権 第18章　ストック・オプション 第19章　分配可能額	・社債の会計処理について学習する。 ・退職給付債務など退職給付に係る会計処理について学習する。 ・資産除去債務の会計処理について学習する。 ・新株予約権の会計処理について学習する。 ・ストック・オプションの会計処理について学習する。 ・分配可能額の計算方法について学習する。 **全商ビジネス計算実務検定　１級**	小テスト 行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト **後期中間考査**
12 1 2	第20章　税効果会計 第21章　キャッシュ・フロー計算書 第22章　企業結合会計 第23・24・25章 連結財務諸表 第26章　持分法 第27章　財務諸表分析 第28章　監査と職業会計人	・棚卸資産の評価損、未払事業税、積立金方式による圧縮記帳及び繰延ヘッジ損益に関する税効果会計について学習する。 ・企業における資金繰りの重要性及び適切な資金繰りを行うためのキャッシュ・フロー計算書の意義について学習する。 ・合併、株式交換、株式移転など企業結合の形態について学習する。 **全商財務会計検定　全商財務諸表分析検定** ・連結財務諸表の目的及び連結の範囲について学習する。 ・資料に基づいて連結財務諸表を作成する学習活動を取り入れる。 ・持分法の範囲と基礎的な会計処理について学習する。 ・企業価値の評価の意義、キャッシュ・フロー分析などを活用した企業価値の評価方法について学習する。 ・会計責任を果たすことと監査の重要性について取り扱い、具体的な事例と関連付けて、監査リスク及び監査の信頼性を維持するための日本の制度について学習する。	行動観察 プリント点検 **学年末考査**